

むゆいげ

122号
No.1122

2019(平成31)年
1月1日

いとしの世の
しあわせは
人と人が逢う
ことからはいま
ふき出逢いを
みつを



相田みつを美術館
オリジナルカレンダーより頂きました



浄土真宗本願寺派

氷室山
萬徳寺

電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769

↓スマホからでも見れます

<http://mantokuji.net>

あなたに気付かせてもらった 都心の報恩講

11

月は多くのお寺で「報恩講」が営まれる季節。秋の深まりを感じながら、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、ご恩に感謝する法要が営まれます。

私のお寺は、六本木ヒルズから程近い麻布十番にあります。そのため、時代の流れと共に、高層ビルやマンションが立ち並び、周りにご門徒さんのお宅は二軒も無くなってしまうしました。しかし、報恩講を近隣のお寺同士で勤め合い、お斎とぎの膳を出す習慣は今も生きています。ただ、手作りのお斎はごくわずかです。遠方から参拝されるご門徒さんに、ゆつくりとご聴聞いただき、お弁当を召し上がっていただいています。

「報恩講」は、恩に報むくいると書きま
す。「恩」とは私のためになされたこ

とを知るということ。もし、宗祖の指導きがなければ、今、私たちはこの「いのち」の意味も方向もわからぬまま、今生こんじょうも尽きることのない生死愛憎の苦しみの中で迷い、虚しく人生を終えていたに違いありません。宗祖の90年のご生涯そのものが、現代に生きる私たちに、阿弥陀如来の救いのハタラクご本願に出遇う人生に無駄なものは何一つないことを教えてくださいます。

悲しみを縁に私と一緒に超宗派の「自死・自殺に向き合う僧侶の会」で活動しているIさんは、最愛の息子さんを突然失った悲しみの中で、ご本願に出遇っていかれたお一人です。今、念仏者として多くの自死遺族の悲嘆に寄り添っています。そんな彼女が会のホームページにこんな詩を書いてくれました。

平成三十二年(二〇一九年)
年回表 ※平成の年号は4月30日までです

一周忌	平成三十年	往生
三回忌	平成二十九年	往生
七回忌	平成二十五年	往生
十三回忌	平成十九年	往生
十七回忌	平成十五年	往生
二十五回忌	平成七年	往生
三十三回忌	昭和六十二年	往生
五十回忌	昭和四十五年	往生

※亡き方を通して、今私たちは一生懸命生きていますよ、とのお心をお忘れにならないようにお勤め下さい。お家のご都合で、祥月命日が過ぎててもよろしいですよ。

平成三十二年(二〇一九年)
萬徳寺年間行事予定表

※平成の年号は4月30日までです

◎本願寺御正忌報恩講団体参拝
仏教壮年会 一月十三日(日)

◎本願寺御正忌報恩講団体参拝
仏教婦人会 一月十五日(火)

◎夜ヨガ

◎門徒冥加金勘定日

一、三、五、七、九、十一月(奇数月の第二土曜日)

◎仏教婦人会総会

三月六日(水)

◎花まつり

11月10日、11日に報恩講法要をお勤めいたしました。
ご講師はお馴染みの野村康治先生です。



※本願寺新報・柳川眞諦師の文章からいただきました

くじけそうになる時もある。
怒りに負けそうになる時もある。
悲しみに流されそうになる時もある。
でも…と思う。
悲しみがあつたから
苦しみがあつたから
今の私がいる。
あなたに気付かせてもらったもの。
それは、全てのいのちへの感謝。
ご恩に報いることなど到底できな
い身ではありますが、苦しみをそのま
ま慶びに転じていける人生を、共に歩
ませていただきたいですね。



12月8日に年末恒例の
お餅つき会を開催しました。
今年も美味しくいただきました!

一日二度はお念仏申し上げましょう
我が声から出る南無阿弥陀仏は
阿弥陀さまの喚び声ですよ
大きなお声でお念仏いたしましょう
お正月はご家族とご一緒に
御仏壇にお参りいたしましょう

四月八日(月)

◎ 永代経法要

四月十三日(土)、十四日(日)

〈講師 四條畷市自然寺住職 加藤真悟 師〉

◎ 人生講座

六月三十日(日)

◎ お経の練習会

八月二十五日(日)

◎ 報恩講法要

十一月十九日(土)、十日(日)

〈講師 摂津市誓覚寺住職 宮部雅文 師〉

◎ 萬徳寺キッズサンガお餅つき会

十二月十四日(土)

◎ 除夜会

十二月三十一日(火)





前任職の ひとり言



◆『今を大事に生きる 一月を大事にいきる 一年を大事に生きる 一生を大事に生きる』(鍋島俊樹師)

◆2019年(平成31年)あけましておめでとうございます。世の中の様々な出来事が起こる中、無事新しい年を迎えられたことの不思議さを慶びたいと存じます。

◆昨年は、地震や台風など自然災害が多く発生し、不安の続く日々でした。昨年6月18日の大阪北部地震で被災された家々の屋根がまだブルーシートで覆われています。昨年の自然災害で被害の大きかった岡山・倉敷真備町、広島県の呉市周辺、伊予大洲市、北海道胆振地方の被災された方々は、今も尚、多くの混乱と悲しみの中で生きておられます。このようなときにあつて私たち念仏者は、被災された方々の苦しみや悲しみに寄り添う思いを行動に移し、お念仏を申す人生を送らせていただきますよう存じます。

個人情報により非表示にさせていただきます。

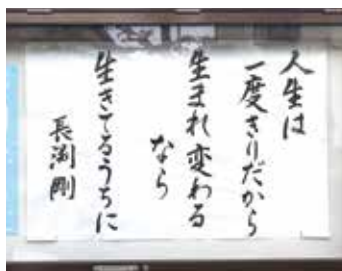
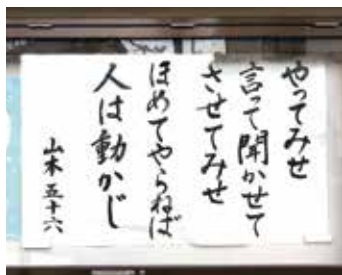
ご家族のお悲しみいかば

からかと存じます。残されたご遺族はどうぞ！阿弥陀さまのお側に往かれた亡き父、亡き母、亡き夫、亡き妻、亡き子と今やと向かい合い、ご仏壇の前で手を合わせ、お話をして下さいませ。人はみな愛憎を超えて、なげき、悲しみ、孤独、絶望のご縁の中で、手を合わせ、お念仏をいただいています。この尊い仏縁に遇っていただきますよう。お浄土に還られた亡き

方々は仏となり、娑婆の私たちに、お念仏申す人生を送ってくれよと喚びかけていただいていますよ。なもあみだぶつ なもあみだぶつ。

◆昨年11月10日・11日には萬徳寺報恩講法要をにぎにぎしく勤めさせていただきました。門信徒には遠近各地よりお参りいただき誠に有難うございました。今年の報恩講のご講師は、東淀川区の瑞松寺住職・野村康治先生にご出講いただきました。お歳を召されて、あたたかくお話をいただきました。今いただいている私たちのいのちの有り様、日常を家庭のお育てから引き継がれる、命のバトンタッチとしてお念仏相続、お念仏申す人生とは！を明るくお話をいただきました。前任職の私も、前々坊主でありました母を昨年4月に送った身であり、そしてふつと気付きますと、今度は私が送られる番になったと戸惑い!!阿弥陀さまから、お前もお浄土に近いぞ、との尊いご催促と領解させていただきました。前任にとつて大変有り難いお話を頂戴いたしました。

◆今年も1月には、親鸞聖人ご法事であります御正忌報恩講が本願寺で1月9日午後(連夜)より16日午前中(日中)《親鸞聖人ご往生日》まで勤まります。浄土にてかならず かならず まちまいらせ そうろうべし(先にお浄土で必ず必ずあなたをまつていますよ)。皆さん!どうぞ、先にお浄土に還られた親鸞さまにお会いしに、ご本山報恩講にお参りしてくださいませ。



伝道掲示板。毎月、新坊主が書かせていただいています。